

21 世紀水倶楽部研究集会
「下水道雨水貯留管のマネジメント - 河川との関わりと運転管理を語る -」
参加募集のご案内

(NPO) 21 世紀水倶楽部では、「下水道雨水貯留管のマネジメント」に関する研究集会を下記により開催します。本研究集会は Web システムにより開催されます。多くの皆様の参加をお待ちしています。

1. 開催趣旨

近年、降雨現象の激化により浸水被害が深刻さを増している。下水道の浸水対策は雨水管、ポンプ場を整備し、速やかに河川へ排除することが基本であるが、河川改修の遅れた区域や排水先に制約を受ける区域では、雨水貯留管の整備が選択される例が増えている。国においても貯留施設の整備を推進する方針が示されており、今後、雨水貯留管の一層の活用が想定される。本研究集会では、雨水貯留管の計画・運転管理について経験を有する自治体の現状を紹介するとともに、下水道と河川との連携方策、技術開発の方向性等、雨水貯留管の総合的なマネジメントのあり方について議論する。

2. 開催日時 令和 3 年 1 月 28 日 (木) 13 : 30 - 16 : 15

3. 開催方法 Zoom でのオンライン開催

4. プログラム 司会 理事 竹石和夫・阿部洋一

(1) 13 : 30 - 13 : 40 (開催案内) 挨拶 佐藤理事長

(2) 13 : 40 - 14 : 00 鶴見川流域における大規模雨水貯留管

横浜市環境創造局計画調整部下水道事業マネジメント課長 早川正登 氏

鶴見川・帷子川等の流域における雨水貯留管による浸水対策の現状と課題、河川事業との関係、技術開発の現状と方向性等について紹介する。

(3) 14 : 00 - 14 : 20 河川と連携した雨水貯留管の運転

名古屋市上下水道局技術本部計画部主幹 (雨水対策の総合調整担当) 太田宗由 氏

東海豪雨を契機とした 20 年に亘る貯留管整備の経験、運転情報の公開、庄内川における河川事業との連携方策等について紹介する。

(4) 14 : 20 - 14 : 40 寝屋川地下河川と流域下水道の増補管

元大阪府都市整備部下水道室長 長谷川明巧 氏

寝屋川流域で進められている流域下水道増補管と南北の地下河川事業について紹介し、河川と下水道の連携の在り方と課題、方向性について紹介する。

(5) 14 : 40 - 15 : 00 雨水対策における河川と下水道の連携

元国交省江戸川河川事務所長 高島英二郎 氏

都市域における河川と下水道の双方から見た浸水対策の課題、あるべき連携方策について、河川・下水道両事業の立場から提言する。

(15:00 - 15:15 休憩)

(6) 15:15 - 16:15 総合討論

講演に対する質疑、講師と参加者による討論を行う。

5. 参加費 無料

6. 参加申込み

・申込み : 令和2年12月25日(金)までに、研究集会参加登録フォームからお願いいたします。(但し、定員に達した時点で締切ります。)

・募集人数 : 50名

参加者には、後日、招待メールを送付しますので、必ずZoomを使用する時のメールアドレスをご記入下さい。

7. お問い合わせ E-mail : <mailto:sympo-info@21water.jp>

8. 継続学習(CPD) : (公社) 全国上下水道コンサルタント協会の CPD 認定プログラム申請中